

学力向上推進地域 研究通信

平成 29 年 6 月 28 日
(八次中学校区研究推進地域 第 3 号)
研究推進教員 八次中学校 豊永政男

第 2 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめております。共有していただき、全教科・全職員での研修推進をよろしく願います。

【第 2 回研究授業（国語）】 日 時：平成 29 年 6 月 27 日（火）

単元名：馬洗川報告文を書こう

教材名：「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」

指導者：八次小学校 谷口静香 教諭

★授業で提案した指導改善のポイント

学習課題：総合的な学習の時間との関連、架空の人物設定、単元のゴールの設定により、教材を読む必然性を持たせる。

発問：「根拠を持たせる・考えを広げる・発言を深める」という三つの切り返して思考を深める。



研究協議

- 「7 段落がなくてもよいのでは」という発問により自分の考えが持ちやすかった。
- 『『このように』と書かれてあるのでまとめだと思います。』という児童の発言のように、既習内容を生かした授業展開であった。
- 切り返し発問により児童の思考を深めようとする工夫があった。
- 授業で学んだことを「まとめ」、単元のゴールに向かう中で生かしたいことを「振り返り」に書くことができた。
- 意見を共有したり、考えを深めたりするためにも、ペアやグループなど協同学習を仕組む場面があるとよかった。
- 発言する児童とそうでない児童に分かれてしまっていた。
→ (改) 板書の工夫などによる全員で思考できるための足場づくり

指導講話 「課題発見解決学習を取り入れた国語科の授業づくり」

<福山市立大学教育学部児童教育学科 准教授 森美智代>

○国語科での指導に生かしたいこと

- ・本授業のような活動のゴールに向かう中で学ばせる単元構成
- ・説明文を通した「論理」の学習

キーワード：順序，全体 - 部分，一般(抽象) - 具体，原因 - 結果，理由 - 主張

○他教科にもつながる視点

- ・児童生徒に自信を持って発表してもらうために、机間指導を早く行う。
- ・コミュニケーション能力の育成は、関係性の構築と同時に行う必要があり、関係性の構築を意図的に仕組むことが求められる。
- ・コラボレーションを意識した協働

例：報告文を個人で書くか
協同で書くか

★どの教科にもつながる点（今後に生かしたい点）

- ①思考を深める協同学習の効果的な設定
- ②切り返し発問による思考の深化
- ③関係性の構築を含めたコミュニケーション能力の育成

